

オルガテック 2004 - ケルン国際オフィス家具見本市

2004年10月19日(火)~23日(土)

ドイツ連邦共和国 ケルン・メッセ会場

- ファイナルレポート -

- ◆ オルガテック2004 : 新しいコンセプトによる好調なスタート
- ◆ “Living at Work” が新風と再出発ムードを呼び込む
- ◆ 90カ国から約5万4千人の来場者、外国人ビジターが50%

2004年10月23日(土)に5日間の会期を終えたオルガテック 2004は、投資の停滞に苦慮していたオフィス業界に新しい風を吹き込み、待望の上昇傾向をもたらしました。商品展示中心の見本市から、総合的なテーマを表現したメッセへの新たな方向付けも成功の一因です。このコンセプトは企業のユニークな技術革新やプレゼンテーションに反映され、新しい顧客層をケルンに引き寄せる要因ともなりました。「オルガテックの新たなコンセプトによって、我々は重要な一步を踏み出しました。それと同時に、将来につながるしっかりした基盤を創り出したのです」と、ケルン・メッセのオリバー・クアト副社長は総括しています。さらに、「オルガテックは、外国人来場者が増え、オフィス業界のビジネスを活性化し、大手企業から決定権を持つ大勢のバイヤーをケルンに招聘することに成功しました」と述べています。オフィス業界のプランニングや設備、マネージメントを総合的に提案するオルガテックには、90カ国から約5万4千人が来場し、41カ国847社が出展参加しました。

ドイツのオフィス家具業界はオルガテックの経過と、ビジターからの反響の良さに満足感を示しています。その要因として購買決定権を持つバイヤーの割合が非常に高かったことが挙げられます。またこの見本市で新たに契約を取り付けたメーカーも、予想を上回るバイヤー数とその質の高さに嬉しい驚きを見せていました。「今年のオルガテックのスローガン “Living at Work” のもとに、オフィスの概念に対する新たな興味を明らかに向上させることができました」と、オフィス・椅子・ファシリティ家具連盟(BSO)のヘンリック・フント会長は述べています。さらに、ある中小企業役員は「この見本市で良い刺激を受けたことで、BSOは2005年初頭から再び売上が増加することを期待しています」と話しています。テーマ指向のメッセとしてのオルガテック 2004の再出発は、広く支持されました。

取引の場で統合が進行中にもかかわらず、今年のオルガテックには90カ国から約5万4千人のビジターが来場し、前回の結果(102カ国から56,897人)とほぼ同じような数字を記録しました。ドイツ国内からの訪問者数が減少傾向にあるものの、外国からのビジター数は前回

より5%増加し、全体の50%を占めています。その中でも、とりわけ増加が見られたのがオランダ、フランス、スイス、オーストリア、スカンジナビア諸国、東ヨーロッパ、そしてアジアからのビジターでした。

また、期間中に実施されたアンケートによると、ビジターの質と彼らの持つ決定権の高さが反映されていました。アンケートに答えた人の70%以上が、購買・調達の決定を直接下している、もしくはその決定に関与していると答えています。また、専門バイヤーの他にも、新商品や業界トレンドなどの情報を集めるために訪れた建築家、内装業者、インテリアプランナーなどのクリエイティブな職種のビジターも多く見られました。

オルガテック2004の詳細情報、トレンド、写真などはウェブサイト www.orgatec.de をご参照ください。

次回のオルガテック2006は、2006年10月24日～28日に開催されます。

ケルン・メッセに関するお問い合わせは下記までどうぞ。

ケルン・メッセ日本事務所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-13-1 虎ノ門40MTビル9F
TEL:03-5405-2202 FAX:03-5405-2203
E-Mail: kmjpn@koelnmesse.jp <http://www.koelnmesse.jp>